

# 一般質問

## 市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 小櫃 市郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地方（秩父）創生政策</li> <li>2 地域活性化政策</li> <li>3 吉田地域土地有効活用</li> </ol>	<p>⑤ 浅海 忠（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公共施設・まちづくり政策</li> <li>2 広域行政改革</li> <li>3 秩父サイクルパークBMX場</li> </ol>	<p>⑨ 上林 富夫（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 秘匿内容対策状況</li> <li>2 危機における即応体制整備</li> <li>3 補助金事業等の中止、変更の現状</li> <li>4 新型コロナウイルスによる市の現状</li> </ol>
<p>② 赤岩 秀文（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療・福祉・健康政策</li> <li>2 教育・子育て・文化伝承政策</li> <li>3 市道幹線51号線踏切の安全対策</li> <li>4 県道73号線交差点の渋滞対策</li> </ol>	<p>⑥ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災・減災の推進</li> <li>2 これからの市立病院</li> <li>3 子どもたちをめぐる環境</li> </ol>	<p>⑩ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 官製ワーキングプア対策</li> <li>2 「助けて」を汲み取るまちづくり</li> <li>3 市内循環バスの運行</li> </ol>
<p>③ 江田 徹（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 秩父新電力株式会社の活用促進</li> <li>2 災害時におけるドローン活用</li> <li>3 道路環境の整備</li> <li>4 各種申請書の押印</li> </ol>	<p>⑦ 本橋 貢（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 電子図書館の活用</li> <li>2 市役所窓口払いキャッシュレス決済導入</li> <li>3 災害時に備蓄ゼリー導入</li> <li>4 結婚新生活支援事業</li> </ol>	<p>⑪ 山中 進（日本共産党秩父市議団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 林地開発</li> <li>2 障がい児（者）支援制度</li> <li>3 第8期介護保険制度</li> </ol>
<p>④ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 厚労省より委託された地場雇用対策事業</li> <li>2 森林経営管理制度の現況と今後</li> <li>3 コロナ禍における各業界の動向と支援策</li> <li>4 3年度における歳入の見通し</li> </ol>	<p>⑧ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス対策（医療・経済）</li> <li>2 ジェンダー平等社会</li> <li>3 田村井森地内の行政代執行</li> <li>4 妊婦へのインフルエンザ予防接種補助</li> </ol>	

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧ください。

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 小櫃 市郎

### ● 地方創生政策

地方創生、地域活性化政策の積極的な推進については。

問 答 まず総合振興計画については、今年度は総合振興計画前期基本計画の最終年度であり、現在、3年度からの5年間を計画期間とする後期基本計画の策定を進めている。前期の検証を実施すると共に、検証結果を反映する。各施策の担当部局が認識している課題、意見等を反映したほか、総合振興計画審議会委員の意見等も取り入れ計画作業を進める。計画の内容等については、ホームページ等で周知広報してきたが、より分かりやすく伝わりやすい情報発信手法を検討実行する。

観光入込客数の推移については、コロナ禍の影響で減少するものと推測される。オンライン媒体を活用した情報発信、情報共有の重要性がますます高まると想定されるため、一層の積極的活用を進める。相乗効果を発揮するための連携強化については、花の木プロジェクトの連携事業者である(株)コミュニケーションネットをはじめ、民間事業者、NPO、県、豊島区、ふるさ

と回帰支援センターなど関係機関との連携も進んでいる。セーフコミュニティ推進事業については、再認証の事前審査資料をホームページに掲載している。

### ● 吉田地域の土地有効活用

問 答 吉田地域の農地を市外の方が所有している割合は。

相続されていない土地もあり、正確な数字ではないが、吉田地域には、約1万筆の農地があり、1554人の方が所有している。吉田地域外の方は605人であり、地域外所有率は38・9%。

## 第2次 秩父市総合振興計画



平成28年3月

秩父市総合振興計画

# 一般質問

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 赤岩 秀文  
あかいわ ひでふみ

### ●医療・福祉・健康政策

**問** 障がい者福祉の向上に関連して、医療的ケア児の現状について質問する。

平成26年6月議会で「秩父市のユニバーサルデザイン化に関する請願」が提出され採択された。内容は、障がい者トイレの増設改善、バリアフリーマップの改定、肢体不自由児童・生徒が利用できる医療的ケアを含む施設の設置拡充、歩道のバリアフリー化等である。これらを基に秩父市ユニバーサルデザイン推進行動方針が示されている。しかしながら、医療的ケアが必要な児童生徒の問題だけが取り残されているのではないかと関係者から相談があった。特に提起されたのは放課後デイサービスの入所とレスパイト入院についてである。医療的ケアが必要な児童生徒の現状と、放課後デイサービスの現状は。

- ◎ 医療的ケア児のレスパイト入院
- ◎ 市道幹線51号の安全対策
- ◎ 県道73号線の渋滞対策



横浜市の医療的ケアについてのパンフレット (抜粋)

テラス」内の放課後デイサービス「ゆくる」において小学生から高校生までの知的障がい、身体障がい、重複障がいのある児童生徒の療育は行っているが、医療的ケア児の受け入れは行っていない。今後の受け入れについては、1市4町で構成する秩父地域自立支援協議会の専門部会で協議していく。

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 江田 徹  
えだ とおる

### ●環境・衛生政策

**問** 秩父新電力株式会社は、元年度決算において1800万円の純利益、公共施設の温室効果ガス排出量を2013年度と比較して、2030年度に40%削減する目標を11年前倒しで達成したと報告があった。秩父新電力株式会社の活用という観点から、今後の目標、および取組みについてどう考えているか。

**答** 元年度実績において、当市が掲げる削減目標を11年前倒しで達成できたことは、秩父新電力株式会社の存在があったからこそである。2030年度までこの状態を維持すれば良いのだが、ゼロカーボンシティを掲げる市としては、排出量をさらに削減するための各種方策を実施していく。その方策の1つとして、二酸化炭素排出係数の低い電力を、秩父新電力株式会社から公共施設へ継続供給する必要があるが、電源開発を含めた事業検討は、今後協議しながら進める。

**問** 秩父地域でも、太陽光発電事業者や小水力発電事業者があるが、それらの事業者との連携や協力、

相互の意見交換等で地産の再生可能エネルギーの質を高めていく取組みは考えているか。

**答** 秩父新電力株式会社の黒字経営を維持したうえで、再生可能エネルギーに携わっている事業者の方々と、今後どのような連携、協力が必要なのか、またそれらが実現可能なのかも踏まえて検討課題とする。市においてはコロナ禍の影響もあり、厳しい財政運営が予想されるので、財政面以外での連携と協力を可能な限り行なっていく。



今後の取組みが期待される秩父新電力株式会社

# 一般質問

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 黒澤 秀之  
くろさわ ひでゆき

### ●産業・雇用政策

**問** 地域雇用対策として、厚生労働省より委託された「地域雇用活性化推進事業」および「生涯現役促進地域連携事業」の内容は。

**答** 両事業は、雇用機会が不足し過疎化が進む地域が、その地域の特性を活かし「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持確保のため、また高年齢者が能力や経験を活かし働ける生涯現役社会を目指す取組みを、1市4町等で構成する「ちちぶ雇用活性化協議会」が提案し、厚生労働省の委託事業に採択されたものである。両事業とも、10月から事業がスタートしており、企業向けメニューと求職者向けメニューの実施とともに、その両者をマッチングさせるメニューが大きな柱である。

**問** 手つかずの森林の整備を目的とした森林経営管理制度の現況は。

**答** 元年度より意向調査を始め、大滝の強石・大輪地区を実施。2年度は久那・別所・尾田蔭地区を進めており、市全域を9年かけて意向調査を実施する予定。現在3件の経営管理権を設定し、うち2件は民間へ再委託、1件は市が直

接森林整備を実施している。

**問** 新型コロナウイルス感染症におけるこれまでの市内消費活性化対策の効果は。

**答** ペイペイのポイント付与額から推計すると、7月と9月の実施合計で4億9300万円以上の経済効果があつたと思われる。プレミアム付き商品券では、7万5千セットが完売しており、約9億円の消費を見込んでいる。



コロナ禍で苦しむ地場産業界へ支援策を!

- ◎コロナ禍における鉱工業、建設業、製造業の動向と支援策
- ◎3年度における歳入の見直し

## 清流クラブ政策提言より



清流クラブ 浅海 忠  
あさうま ただし

### ●まちづくり政策

**問** 番場通り電線地中化計画の進捗は。

**答** 2年度、詳細設計が完了。3年度5月頃に番場町会、東町会、各商店組合、住民を対象に説明会を予定している。

**問** 秩父鉄道秩父駅東側から国道140号秩父陸橋の開発整備は。

**答** 都市計画マスタープランで方針の検討を進めている。県の事業として、秩父陸橋の平面化を進めている。現在、詳細設計を実施中。市では、平面化に合わせ腰田堀東側を通る中央632号の道路詳細設計(約320メートル区間)を進めている。

**問** 西武秩父駅から市役所本庁舎までのアクセス道路整備状況は。

**答** 秩父公園交差点までは、幹線51号線電線地中化に合わせて、2年度中に工事を実施する。幅員は、全幅12メートルで両側に歩道を設置する。

### ●広域行政改革

**問** し尿処理事業広域化の進捗は。

**答** 統合処理の運営は、秩父広域市町村圏組合を協議対象として進

める。広域化基本計画の素案を2年度末までに完成させ、3年度にパブリックコメントを予定。4年4月に、し尿処理事業を秩父広域市町村圏組合の事業としてスタートさせる事を目指し、各種調整を進めている。



電線地中化される番場通り



西武秩父駅から市役所へのアクセス道路

- ◎埼玉県水道との連携推進
- ◎ちちぶ定住自立圏共生ビジョン(高校魅力化プロジェクト)
- ◎公共施設施策
- ◎市立病院の今後

# 一般質問

## これからの市立病院のあり方



きよの かずひこ  
清野 和彦

**問** 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大とその社会的な影響を経験したことで、社会全体は今までにまして「健やかな社会」を希求するようになり、秩父地域の医療の要である市立病院に期待される役割は、より大きく広範なものとなるだろう。将来的に市立病院はどのようなあり方を目指すことが相応しいと考えるか。

**答** 地域医療を守っていくために地域の医師会との連携は市立病院の大きな役目である。総合診療科、救急医療、感染症への対応が今後の市立病院のあり方と考える。また、市立病院はかなり老朽化しているため、各機能の再配置も検討し、建て替えに向け早急に対応をしなければならぬ。保健センターも老朽化しており早急な対応を考えたい。さらに、県の施設ではあるが老朽化している保健所がどうなるのか。市立病院、保健センター、保健所の連携をしっかりと行えるよう方向性を出していくこと、また病院の広域化をどのように進めていくかということが大きな課題である。これらが次のステージとして市長に課せられた使

命であり、医師が市長であるという立場を最大限利用して進める。



健やかな社会の実現に向けて中核的な役割が期待される市立病院

- ◎ 荒川流域の共生共栄に向けた流域治水の推進と市の役割
- ◎ 避難所での密を避けるための混雑情報の可視化と情報発信
- ◎ GIGAスクール構想と電磁波対策
- ◎ 共生社会の実現に向けたインクルーシブ公園の整備
- ◎ ふれあい学校の今後の運営の方向性

## 電子図書館の活用



もとはし みつぎ  
公明党 本橋 貢

**問** コロナ禍に図書館に来館しなくてもスマートフォン等で本が読める電子図書館の導入は。

**答** 独自の電子図書館の運用については研究を続けながら、当面無料で公開されている電子図書館を活用、周知することでサービスの向上を考える。

### ● 市役所窓口払いキャッシュレス決済

**問** 新たな市民サービスとして、市民課の各種手数料の支払い方法に、電子マネー対応の交通系ICカードを含むキャッシュレス決済の導入は。

**答** 決済事業者および設備の決定、予算の問題等含め組織横断的に検討し、今後、調査研究を行う。

### ● 災害時の備蓄ゼリー導入

**問** 備蓄ゼリーは、東日本大震災の経験から被災者の声を基に作られた。食物繊維入りで栄養のバランスに優れたエネルギー補給に適し、フルーツ味で、5年半常温保存できる。備蓄ゼリー導入の考えは。

**答** 調理の手間もなく、備蓄食糧品としては非常に有効である。食

糧の備蓄計画の中で備蓄ゼリーの備蓄を検討する。

### ● 結婚新生活支援事業

**問** 内閣府は、少子化対策の一環として、結婚新生活の家賃や敷金・礼金、引越等の費用60万円を上限に補助する。この事業への取り組みは。

**答** 県が主導するモデル事業に申請中。元年度の婚姻届件数は239件。婚姻時の年齢や世帯所得の国の調査結果を勘案して、対象となる世帯は65件と見込んでいる。



5年半保存できる「備蓄ゼリー」

# 一般質問

## 市民の命と暮らしを守るために

日本共産党秩父市議員 出浦 章恵



**問** 売上減少が50%未満で、国の持続化給付金の申請ができなかった事業者がいる。「年の瀬を越せるのだからか」、「融資を受ければ返済をしなければならず、コロナ終息の目途が立たず、返済できる不安」、「廃業も考える」という切実な声がある。国に対し、困窮者の実態や、持続化給付金の継続を要望する考えは。

**答** 持続化給付金と同様な制度や新たな支援策の設置を国に要望することについては、今後の経済動向を注視し、どのような支援策が効果的なのかを見極めながら検討し、機会をとらえて県市長会などで提案していく。

**● 田村井森地内の土砂撤去**  
**問** 業者による土砂たい積の崩壊があり、県が行政代執行をしている。代執行計画の詳細と進捗状況、今後の見通しは。

**答** 蒔田川を閉塞している土砂と流木の撤去、ならびに沢上部のたい積土砂の撤去が工事大要。井森地内蒔田川近辺から開始しており、崩落の原因箇所のない積現場付近についても10月26日から着手して

いる。工事は順調に進んでおり、市も現地確認を行っている。現在蒔田川の閉塞も解除され、工期は3年3月下旬までの予定。

**問** 行政代執行に係る費用は。

**答** 概算費用は約1億5千万円。市も県と協議を行い、公有地に係る一部分については協同行うと共に、私有地に係る一部分については市独自で撤去工事を実施している。



崩流土砂が撤去された様子

◎妊婦へのインフルエンザ予防接種補助

## 秘匿内容対策状況 (外部委託事業者含む)

サンライズ秩父 上林 富夫



**問** 情報システム全般におけるセキュリティ対策はどうしているか。原則認められていなかった国会の委員会でも、外部との通信遮断や室内での使用を条件に試行的にタブレットが解禁された。市での職員使用の端末は現状持ち出し可能のようだが、規定の内容は。

**答** 市では住民、職員、税、入札に関する情報等を電子データにより管理。基幹系、情報系、ネット系など主に3つの形態で構成され、職員の端末使用時は職員ごとのパスワード認証を行い、さらに基幹系システムには静脈認証を加え、不正使用防止のため、端末の利用状況や業務に必要な情報を閲覧できないよう制限している。さらに各端末はデータの流出を防ぐため、外部記録媒体を使用できない設定となっている。保有する各種データは各担当課長が責任をもつて管理している。職員使用の端末機器等の持ち出しは、市の規定により、許可が必要である。

るか。

**答** 市民への調査は実施していないが、各部署への問い合わせでも多かったのが福祉関係で631件。主なものは、収入減の方への福祉資金・総合支援資金の特例貸付について316件、ひとり親世帯臨時特別給付金245件、住居確保給付金34件。税金等の減免、徴収猶予などに関する相談179件、その他に水道、下水道料金の分割納付、新型コロナウイルスへの不安に関する相談等が多く寄せられている。

## ● 新型コロナウイルスによる市の現状

**問** 市民の生活状況を調査してい



市で運用しているタブレット端末

# 一般質問

## 官製ワーキングプア対策



かなさき  
**金崎 昌之**  
まさゆき

**問** 自治体が発注する業務の委託によって生まれる貧困層「官製ワーキングプア」対策として、落札に下限額を定める最低制限価格制度の適用範囲拡大の考えは。

**答** 市で課題は表面化していないが、自治体の状況を研究しながら適切な契約事務の運営に努める。

●「助けて」を汲み取るま  
ちづくり

**問** コロナ禍で自殺者が急増している。新型コロナウイルスの感染拡大で相談の機会が失われ精神的に追い詰められることのないよう、「助けて」の声を漏れなく汲み取るまちづくりが必要。どのような取組みが求められているか。

**答** まずは、各種相談窓口が設置されていることの周知が必要。また、市が策定する「秩父市自殺対策計画」に基づき、庁内各部署で市民の「助けて」の声を聞き逃さない取組みを実践する。

**問** 教育委員会ではどうか。

**答** 4月から10月の教育相談でみると、「性格・行動・友人関係」の相談が昨年度の79件から156件と倍増し、「その他」に分類され

る相談も136件から201件に増加した。女性相談員の配置などで、相談しやすい体制を整える。また、メール相談に対応できる体制も整えた。

## ●市内循環バスの運行

**問** 高齢化が進展し、高台にある大宮地区等では食料品の買い物にも苦労している。「循環バス」の必要性が一層高まっているが。

**答** 3年度までに「地域公共交通計画」を策定予定。その中で市内循環バスの必要性も議論する。

バスは放射線状にかなり出ているが、街中を回る路線がない



## 林地開発



やまなか  
**山 中 進**  
すすむ

**問** 林地開発許可制度の趣旨として、森林は水源の涵養、災害の防止、環境の保全といった公益的機能を有し、森林の土地について、その目的は適正な利用を確保することとしている。市内には、国立公園もある。市の基準を厳格化を。

**答** 県に、森林の持つ公益的機能を損なわないよう、審査の厳格化、許可指導、監視体制強化の検討を要望していききたい。

## ●障がい児(者)支援

**問** 市内にも、いろいろな症状を克服し、働ける人たちがおり、就業施設A型を望んでいる。市の取組みは。

**答** 秩父地域で、障がい者就業支援センターを設置し、就業を希望する本人の意思確認や適性を把握する就労準備計画を立て、ハローワークや就労系福祉士事業所等との連絡調整、見学や実習の手配を経て就労に結び付く支援を行っている。

**問** 医療的ケア児を預かることは専門職の確保、設備等財政的に厳しく、結果的に医療的ケア児の受け皿が極端に少ない。ある施設では放課後デイとして預かっている



にじいるテラス

**答** 財政が許せば医療的ケアが可能で、施設がほしいと話している。8月に開所した「にじいるテラス」が、ケアのできる施設として設計されていると聞いています。預かってくれるのか期待をしていた家族もあり、財政支援をすることで開設できるのでは。

◎第8期介護保険制度